

デジタルアーカイブについて



徳島市東部施設課
石山 敬造
Ishiyama Keizo
(環境部門 環境保全計画)

1. はじめに

昨年（2017年）の会報のHP委員会の活動報告で、過去の会報の電子ファイル化の取り組みについて報告いたしました。その活動を通して感じたことなどについて、以下に記載します。

2. デジタルアーカイブとは

ここで、デジタルアーカイブについての説明を以下に記載します。

デジタルアーカイブ（英語：*digitalarchive*）とは、博物館・美術館・公文書館や図書館の収蔵品を始め有形・無形の文化遺産（文化資材・文化的財）等をデジタル化して記録保存を行うこと。デジタル化することによって、文化資源等の公開や、ネットワーク等を通じた利用も容易となる。

資料をを精緻にデジタル化することにより、オリジナル試料へのアクセスの必要性を減らすことができるため、将来的にも試料の傷みを最小限にすることが可能になる。

（引用元ウィキペディア 2018年9月21日（金）07:59版）

3. 会報のPDF化について

昨年、徳島県技術士会の発足50周年事業として、過去の会報を全て電子ファイル化し、CDに収録しました。これもデジタルアーカイブの一種です。

幸運にも、過去の会報がすべて残っていましたので、電子ファイルにして保存することができました。もし冊子のままであれば、保管場所に困り、そのうち捨てられ、二度と戻ってくることはなかったことでしょう。今回、このようなタイミングで電子ファイル化できたのは本当に良かったと思います。

過去の会報を見ての私の感想ですが、徳島県技術士会が多くの技術者によって築き上げられてきたものであり、先人の苦労や情熱などが伝わってきました。

そして昔の会報は今よりも分量があり、また技術的な内容の論文が多数執筆されてい

ました。最近の会報は、あまり原稿が集まらないとのことでしたので、私も先輩になら
って、しっかりした内容の原稿を頑張って書かないといけないと思いました。

このように過去に学ぶことができるのも、デジタルアーカイブのメリットです。

4. インターネットアーカイブ

インターネット上の情報は常に更新されています。そのため、過去のサイトを見よう
としても、既に更新・削除されて、見られなくなっていることはよくあると思います。

そこで過去のサイトを見られる「ウェイバックマシン」というサイトがあります。こ
れは、アメリカに本社がある会社が運営しているのですが、定期的にインターネット上
のサイトを収集して、保存しています。そして、その収集したデータを、誰でも見るこ
とができます。例えば、本会の過去のHPも見ることができます。いろんな過去のサイ
トが収録されていますので、興味のある方は一度ご覧ください。

<https://archive.org/web/>

5. 最後に

このようにアーカイブは手軽に情報を手に入れられる便利で有益なものですが、一方
課題もあると思います。それは、いいものも悪いものも、正しいものも間違っていたも
のもいつまでも残り続けるということです。誰しも、過去の失敗で世間に忘れてもら
いたいものはあると思います。そういったものでも、残ってしまうわけです。

インターネット上に残ったデータは、ほぼ回収することはできません。酒場でつぶや
いた悪口も、動画でとられてネット上に広まれば、インターネット環境がある限り、い
つまでも残り続けます。

昔であれば、過去の過ちも時間がたてばある程度風化して、世間は忘れてくれていま
した。しかし近年では、人の失態を必要以上にネットであおり、貶めてやろうという風
潮になってきているように思います。

真偽のほどはしりませんが、近年では、就職活動の際に、企業がその人の名前で検索
をして、過去にどのような言動をしていたかを調べるということも聞きます。ですので、
ネットへの書き込みや記録に残る発言などは、内容によっては取り返しのつかないこ
とになるかもしれません。これからは、全ての人たち、特に子供たちに情報教育がいつそ
う必要になってくるのではないかと考えています。

私も専門家ではありませんが、こういった分野に興味があるので、勉強を進めていき
たいと思います。そして機会があれば得られた知見を本会の皆様に還元できればと思っ
ていますので、今後どうぞよろしく申し上げます。